

令和2年度(2020年度)活動基本方針
スローガン:「原点」に立つスカウティング
重点目標:スカウト個々をみつめる

1. 2019年、平成から令和へと新たな時代を迎えた

2019年の「世界」的イベントの一つに World Cup Rugby があった。日本チームの快進撃もあったが、力と力がぶつかり合うスクラム、トライへとひたすら前へ前へと突き進む激しさは、観戦する者にとって敵も味方も忘れてただただ感動させられた。

私達のスカウト運動に目を向けると、2019年夏季、米国東部にあるウエストバージニア州サミット・ベクテル保護区で「Unlock a New World(新世界の扉を開ける)」をテーマとした The 24th World Scout Jamboree (世界スカウトジャンボリー)が開催された。

兵庫連盟からは87名のスカウト・リーダーが参加し新たな「世界」に対峙し、戸惑いながらも多くの感動を得たものと想像する。これは参加したスカウトでなければ味わえないものであり、是非、その感動体験を将来に生かすとともに、広く拡散してほしい。

スカウト達はこの一年間を楽しくかつ厳しい隊活動を体験し成長されたものと想定するが、一方でスカウト運動の原点である「ちかい」「おきて」の実践をどれほど達成されたか、個々に振り返っていただきたい。

2. 2020年度(令和2年度)、「ちかい」「おきて」の実践という「原点」に立つ

過去5年間の活動基本方針は、一貫して①スカウト個々を見つめる大切さ、②国際交流の推進、③競争心の育成、④指導者の自己研鑽の推進、⑤後継者育成の5項目を掲げてきた。成果はどうか、測ることはできないが少なくとも関係各位の意識の中に定着したものと考えている。

2020年度、スカウト運動に関わる私達は、新しい時代を迎えて、今一度、この運動の「原点」に立ち返る年にしたい。すべての指導者は日常生活において「ちかい」「おきて」(誠実・友情・礼儀・親切・快活・質素・勇敢・感謝)の実践、更には「日々の善行」・「そなえよつねに」に加えて「日々の改善」・「自立思考」に努め、すべての指導者が自分自身を高め、スカウトすべてがその教えを実践できるよう指導に努められたい。

私達は昔「3つのちかい」を宣誓した。「ちかい」や「おきて」を知り得たことを喜びと感じている。またこれほど簡潔な教示は他に類をみない。これらの実践こそが指導者やスカウトの将来の人生に大いに影響を与えるものと確信している。

3. 2020年度、「原点」に立ちスカウト達の新たな成長を目指す一年

2020年度はスカウト運動の「原点」を常に意識して実践する一年である。その結果、現在抱える課題の多くが改善されると考えている。コミッショナー・トレーナー・常設委員会・特別委員会・隊指導者・団委員の皆様には、スカウトの健全なる成長を目指してスクラムを組みひたすら前へ前へと進んでいただきたい。スカウトへの指導に遠慮は無用である。彼らの新たな成長のために新たな多くの感動の「世界」へと導いていただきたい。